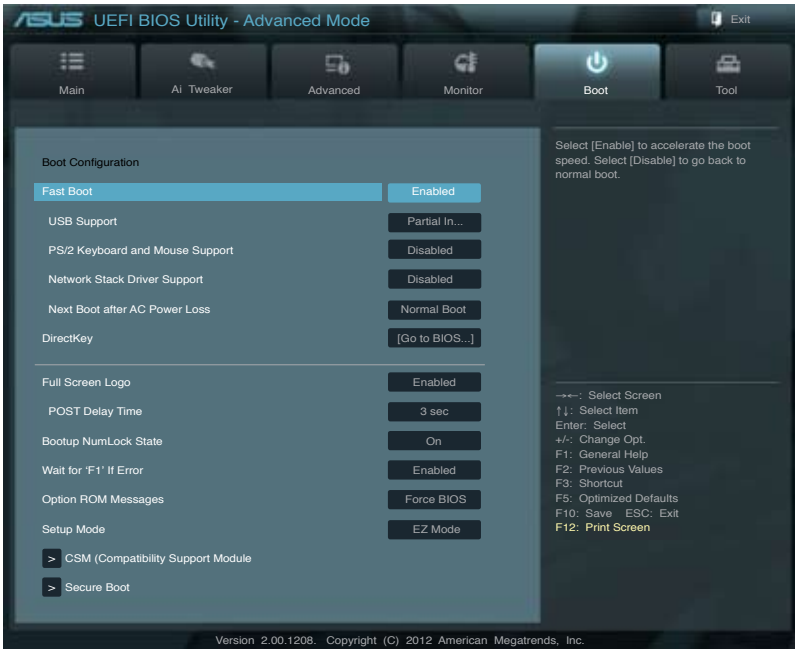


Windows® 8 BIOSブート設定

Windows® 8オペレーティングシステムのための新しい起動オプションを設定することができます。



Fast Boot [Enabled]

- [Enable] 起動時の初期化作業を短縮し、システムを素早く起動します。
 [Disable] 通常のブートプロセスを実行します。



次の4項目は、「Fast Boot」を[Enabled]に設定することで表示されます。

USB Support [Partial Initialization]

- [Disabled] すべてのUSBデバイスはOSが実行されるまで無効状態になります。最も早くPOSTを完了することが可能です。
 [Full Initialization] すべてのUSBデバイスはPOST時に利用可能です。POST完了までの時間は遅くなります。
 [Partial Initialization] POST時間を短縮するためにキーボードとマウスを接続したUSBポートのみをPOSTで検出します。

PS/2 Keyboard and Mouse Support [Auto]

Fast Bootを有効に設定した場合のPOST時のPS/2キーボードとマウスの動作を設定します。

- [Auto] 起動時に接続されているPS/2デバイスをNVRAMに記憶し、起動時間を早くします。
- [Full initial] POST時PS/2デバイスを常に利用可能にします。
- [Disabled] オペレーティングシステムが実行されるまでPS/2デバイスを無効状態にします。PS/2デバイスでUEFI BIOS Utilityを起動または操作することはできません。

Network Stack Driver Support [Disabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
- [Enabled] POST中にネットワーク・スタック用ドライバーを読み込みます。

Next Boot after AC Power Loss [Normal Boot]

- [Normal Boot] 電力遮断後、再度通電する際に通常の起動プロセスを実行します。
- [Fast Boot] 電力遮断後、再度通電する際にFast Boot設定に準じた起動プロセスを実行します。

DirectKey [Go to BIOS...]

- [Go to BIOS Setup] ボタンを押すだけで簡単にUEFI BIOS Utilityを起動させることができます。
- [Disable] DirectKey機能を無効にします。DirectKeyボタンはシステムの電源ボタンとしてのみ動作します。

Full Screen Logo [Enabled]

- [Enabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示します。
- [Disabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示しません。



ASUS MyLogo™ 機能をご利用になる場合は「**Full Screen Logo**」を **[Enabled]** に設定してください。

POST Delay Time [3 sec]

この項目は「**Full Screen Logo**」を **[Enabled]** に設定すると表示されます。指定した遅延時間をPOSTプロセスに追加しUEFI BIOS Utilityの起動受付時間を延長します。設定範囲は 1 ~10秒です。



この機能は通常の起動時のみ利用することができます。

Post Report [5 sec]

この項目は「**Full Screen Logo**」を **[Disabled]** に設定すると表示されます。POSTレポートの表示時間を設定します。
設定オプション：[Until Press ESC] [1] ~ [10]

CSM (Compatibility Support Module)

CSM (Compatibility Support Module)のパラメータ設定です。この設定によってUEFIドライバーを持たないデバイスとの互換性を向上することが可能です。

Launch CSM [Auto]

[Auto]	システムは自動的に起動可能デバイスと追加デバイスを検出します。
[Enabled]	CSMを有効にし、Windows® UEFIモード、またはUEFIドライバーを持たない追加デバイスを完全にサポートし互換性を高めます。
[Disabled]	Security Firmware UpdateとSecure Bootを完全にサポートするためにCSMを無効にします。



次の4項目は、「**Launch CSM**」を[Enabled]に設定することで表示されます。

Boot Devices Control [UEFI and Legacy OpROM]

起動を許可するデバイスタイプを選択します。

設定オプション:[UEFI and Legacy OpROM] [Legacy OpROM only]
[UEFI only]

Boot from Network Devices [Legacy OpROM first]

起動に使用するネットワークデバイスの優先タイプを選択します。起動時間を短縮する場合は[Ignore]を選択します。

設定オプション: [Legacy OpROM first] [UEFI driver first] [Ignore]

Boot from Storage Devices [Legacy OpROM first]

起動に使用するストレージデバイスの優先タイプを選択します。起動時間を短縮する場合は[Ignore]を選択します。

設定オプション: [Both, Legacy OpROM first] [Both, UEFI first]
[Legacy OpROM first] [UEFI driver first] [Ignore]

Boot from PCIe/PCI Expansion Devices [Legacy OpROM first]

起動に使用するPCI Express/PCI 拡張デバイスの優先タイプを選択します。

設定オプション: [Legacy OpROM first] [UEFI driver first]

Secure Boot

システム起動時に許可されていないファームウェア、オペレーティングシステム、UEFIドライバー（オプションROM）が実行されないようにするWindows® のSecure Bootに関する設定を行うことができます。

OS Type [Windows UEFI mode]

インストールしているOSを選択します。

[Windows UEFI mode] Secure Bootによるチェックを実行します。Windows® UEFIモード、またはMicrosoft® Secure Bootに対応するOSの場合はこのオプションを選択します。

[Other OS] 非UEFIモード（従来のモード）、またはMicrosoft® Secure Bootに非対応なOSの場合、このオプションを選択することで機能を最適化します。Microsoft® Secure BootはWindows® UEFIモードのみをサポートしています。

Secure Boot Mode [Standard]

Secure Bootの動作モードを設定します。Secure Bootは、許可されていないファームウェア、オペレーティングシステム、UEFI ドライバー（オプション ROM と呼ばれます）が起動時に実行されないように支援する機能です。

[Standard] システムは自動的にデータベースからキーを読み込みます。

[Custom] Secure Boot設定をカスタマイズして手動でデータベースからキーを読み込みます。



次の項目は「OS Type」を [Windows UEFI mode] に設定することで表示されます。

Key Management

この項目は「Secure Boot Mode」を [Custom] に設定すると表示されます。Secure Bootキーの管理を行います。

Manage the Secure Boot Keys (PK, KEK, db, dbx)

Install Default Secure Boot keys

プラットフォームキー (PK)、キー交換キーデータベース (KEK)、署名データベース (db)、失効した署名データベース (dbx)、すべてのSecure Bootキーの初期値を読み込みます。プラットフォームキー (PK)の状態がUnloadedの場合、状態はLoadedとなります。設定は再起動後に適用されます。



キー交換キーデータベース (KEK) はMicrosoft® キー登録キーデータベース (KEK) を示します。

Clear Secure Boot keys

この項目はSecure Bootキーの初期値が読み込まれた場合に表示されます。プラットフォームキー (PK)、キー交換キーデータベース (KEK)、署名データベース (db)、失効した署名データベース (dbx)、すべてのSecure Bootキーを削除します。

PK Management

プラットフォームキー (PK) は、許可されていないファームウェアの変更からコンピューターを保護します。コンピューターがOSを起動する前にシステムはPKを確認します。

Load PK from File

プラットフォームキー(PK) をUSBストレージデバイスから読み込みます。

Copy PK to File

プラットフォームキー (PK) をUSBストレージデバイスに保存します。

Delete PK

プラットフォームキー (PK) を削除します。PKを削除した場合、Secure Bootは利用できません。

設定オプション: [Yes] [No]



読み込むファイルは時間ベース認証変数を使用するUEFI可変構造でフォーマットされている必要があります。

KEK Management

KEK(キー交換キーデータベース、またはキー登録キーデータベース)は、署名データベース (db) と失効した署名データベース (dbx) の更新に使用されます。



キー交換キーデータベース (KEK) はMicrosoft® キー登録キーデータベース (KEK) を示します。

Load KEK from File

キー交換キーデータベース (KEK) をUSBストレージデバイスから読み込みます。

Copy KEK to File

キー交換キーデータベース (KEK) をUSBストレージデバイスに保存します。

Append KEK from file

追加されたdb/dbxの管理用にKEKをUSBストレージデバイスから追加します。

Delete the KEK

キー交換キーデータベース (KEK) を削除します。

設定オプション: [Yes] [No]



読み込むファイルは時間ベース認証変数を使用するUEFI可変構造でフォーマットされている必要があります。

db Management

署名データベース (db) は、署名者、または個別のコンピューター上で読み込みが許可される UEFI アプリケーション、オペレーティング システム ローター、UEFI ドライバーのイメージ ハッシュが登録されています。

Load db from File

署名データベース (db) をUSBストレージデバイスから読み込みます。

Copy db from file

署名データベース (db) をUSBストレージデバイスに保存します。

Append db from file

より多くのイメージを安全に読み込むために、USBストレージデバイスから署名データベース (db) を追加します。

Delete the db

署名データベース (db) を削除します。

設定オプション: [Yes] [No]



読み込むファイルは時間ベース認証変数を使用するUEFI可変構造でフォーマットされている必要があります。

dbx Management

失効した署名データベース (dbx) は、信頼されなくなったために読み込みが許可されないアイテムの、失効したイメージが登録されています。

Load dbx from File

失効した署名データベース (dbx) をUSBストレージデバイスから読み込みます。

Copy dbx from file

失効した署名データベース (dbx) をUSBストレージデバイスに保存します。

Append dbx from file

より多くの失効した署名が読み込まれないように、USBストレージデバイスから失効した署名データベース (dbx) を追加します。

Delete the dbx

失効した署名データベース (dbx) を削除します。

設定オプション: [Yes] [No]



読み込むファイルは時間ベース認証変数を使用するUEFI可変構造でフォーマットされている必要があります。
